

# よんでネット\* 夏号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



## 「アルバートさんと赤ちゃんアザラシ」

ジュテイス・カー 作・絵

三原 泉 訳

ある日、アルバートさんは海で野生のアザラシの親子に出会いました。お母さんにお乳をもらう赤ちゃんアザラシは、とてもかわいらしく、アルバートさんは毎日のように会いにきました。ところがある日、お母さんアザラシが死んでしまい、赤ちゃんはお乳がもらえずだんだん弱っていきます。アルバートさんはこの赤ちゃんを助けようと決しました。

徳間書店〔933カ〕

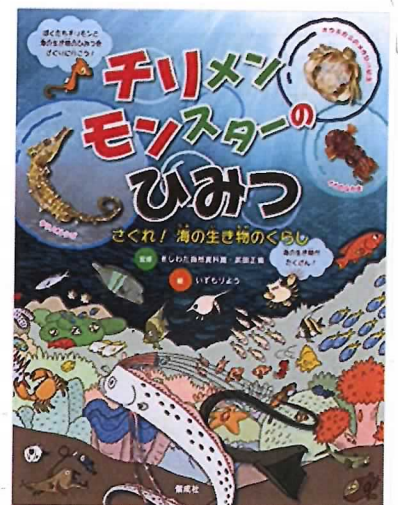
## 「チリメンモンスターのひみつ さぐれ! 海の生き物のくらし」

監修 きしわだ自然資料館・武田正倫

絵 いずもりよう

「チリメンモンスター」ってしってる? 略して「チリモン」。ポケモンじゃないよ。チリモンはチリメンジャコの中にまぎっている海の生き物なんだ。

変わった形でほんとにモンスターみたい。虫めがねでさがすほど小さいよ。こんな生き物が広い海の中でどんなふうにごして、どんな生き物に育っていくのかさぐってみよう。



偕成社〔66カ〕



# 「タケノコごはん」

大島 渚・文  
伊藤 秀男・絵

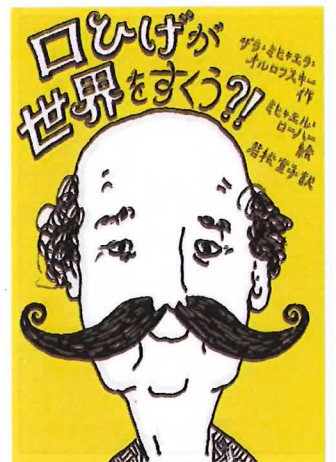
ぼくがしょうがっこう小学校に いったころ、日本は戦争にほん せん ぞうを  
していた。ともだちのさかいくんのおとうさんも  
担任たん にんの先生せんせいも戦争せんしした。かわりに来た先生と  
ぼくたちは なかよくなったが、この先生も戦争に  
いくことになった。先生のうちにおしかけると  
先生はタケノコごはんを ごちそうしてくれた。みんな  
むちゃうで たべていたが…。

ポプラ社〔E・絵本のコーナー〕

# 「口ひげが世界をすくう?!」

ザラ・ミハエラ・オルロフスキー 作 ミハエル・ローバー 絵 若松宣子 訳

「世界ひげ大会せかい ひげたいかいにでる!」おじいちゃんはある日とつぜん  
そうきめた。ぼくはうれしかった。だっておばあちゃんが  
亡なくなってから、おじいちゃんはずと元氣げんきがなかつたから。  
まずはひげをのばして草オイルをぬって毎日くしで  
とかして三日おきにはさみで ととのえて…。  
めざすはひげの世界チャンピオン!



岩波書店〔943オ〕



# 「走れ!! 機関車」

ブライアン・フロッカ 作/絵 日暮雅通 訳

さあ、旅たびのはじまりだ。  
手には、一週間分の旅の切符。  
これから昼も夜も休みなく、この広いアメリカを  
走りぬける。さあきたぞ! えんとつから  
雲のようにけむりをはいて、カンカン! しゅーっ。  
怪物かいぶつが息いきをはくような音、蒸気機関車だ!  
いっしょに旅しよう。どこまでもつづく鉄の道てつのみちを!

偕成社〔E・絵本のコーナー〕